

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

こんばんは、らくだです。

6月になったばかりなのに、真夏のような熱気ですね。

そんなうだるような暑さの中、心齋橋の小肥羊へ、火鍋を食べに行ってきました。



「暑いのに」ではなく、「暑いからこそ」です。

火鍋のスープに使われている数十種類の漢方食材には、熱中症や夏風邪の予防、滋養強壮や食欲増進、夏バテの改善などに素晴らしい効果があるのです。

以下、ランチコースの写真を紹介。



(1) ラム肉

切り方が非常に薄いためか、羊の臭みは全然ありません。

以前は羊肉って苦手だったんですが、火鍋のおかげで今は好物になりました。



(2) 鶏肉と野菜

奥が鶏肉です。

手前のラム肉よりも色が薄いですね。

野菜のプレートには、春雨や豆腐、餃子も含まれていました。

あと撮影を忘れましたが、前菜もセットに入っていて、しっかり満腹になれる内容です。



(3) 麺とデザート

シメの主食は、ご飯か麺を選べますが、今回は麺を選択。

マンゴープリンは、マンゴーの果肉そのままの味で、高級感たっぷり。

コースは以上で終了、なのですが……。



ラム肉を追加した、食いしん坊ワナビ。

だって～。

最後になるほど、具材のダシがよく出て、スープがおいしいんだもん～。



こちらの写真は、お店の入口に置いてあった、ラクダとヤギのぬいぐるみ。

そんなわけで、好物の火鍋を食べて、元気をチャージできました！

今後も暑い日が続きそうですが、皆様、6月も頑張っていきましょう！

本日はフィギュアスケートの話題です。

関西大学の千里山キャンパスにて、特別展「世界を魅せたトップスケーター 橋大輔選手 織田信成選手 町田樹選手 栄光の軌跡」が開催されています。

5月17日から始まっていたのですが、ようやく見に行くことができましたので、今回はその様子をレポートします。



まずは正門の写真。

阪急千里線の関大前駅から、坂道を歩いて約10分です。

自分はどう頑張っても大学生には見えない容貌ですが、特に警備員に止められることもなく通過できました。



正門をくぐったら、時計のオブジェが。

やたらと敷地の広い大学ですが、会場の博物館へは、ここを左に曲がって約5分です。

辿り着いてみたら、こんな建物でした。



入口に誰もいなかったなので、恐る恐る2階へ上がってみると、係員が「こちらです」と案内してくれました。

展示物は撮影禁止ですが、会場へ足を踏み入ると、本物のメダルや衣装が！
フィギュアスケートファンなら、思わず、「おおっ」となること間違いなしです！



投稿ブログに書いても場違いですが（汗）、これから行かれる皆様のために、展示物の一覧をメモしておきます。

【橋選手】

- ・ 05 ジャパンインターナショナルチャレンジ、優勝トロフィー
- ・ 05 GPファイナル、銅メダル
- ・ 05 全日本、金メダル&優勝トロフィー
- ・ 06 全日本、優勝カップ
- ・ 07 GPファイナル、銀メダル
- ・ トリノオリンピック、8位賞状
- ・ ソチオリンピック、衣装（SP&FS）
- ・ サイン色紙

【織田選手】

- ・ 05 NHK杯、金メダル&優勝トロフィー
- ・ 05 全日本、2位トロフィー
- ・ 13 NHK杯、衣装（FS）

【町田選手】

- ・ 火の鳥の衣装2点（肩に赤いフワフワがついた版&オレンジのグラデーション版）
- ・ 14 ワールド、SPスモールメダル（金）&FSスモールメダル（銀）&総合銀メダル
- ・ スケート靴
- ・ サイン色紙

開催期間の詳細や会場の写真などは、関大のホームページに載っています。

誰でも無料で見られるので、スケートファンの皆様は、是非足を運んでみてください。

【関西大学・特別展】

http://www.kansai-u.ac.jp/mt/archives/2014/05/post_946.html

うっかり紹介を忘れていたので、5月分のパブー版を、今さら宣伝してもいいですか？

らくだ図書館（29）

<http://p.booklog.jp/book/86626>

どうでもいいですが、ツイッターの宣伝は、手動でやっています。

自動じゃないんですよ！

だからリプライをいただければ反応しますよ！

人見知りが激しくて自分からは交流できないくせに、こんな場所で構ってアピールをする、寂しがり屋スタイルでお届けしております。

まあ、そんなわけで。

3日遅れの話題ですが、5月が終わり、6月が始まりました。

こうして思い返すと、投稿上の進展が、先月はゼロでしたね。

新作も書いていないし、中間発表もなかったし、評価シートも来なかったし。

あ、小学館文庫の発表があったか。

でもあれは、自分が未チェックだっただけで、実際の発表日は4月だったわけで。

そんな先月でしたが、今月以降は毎月発表があるので、今からかなり楽しみです。

小説を書いていない状態で、しかも送った作品の発表もないと、自分が投稿者だって忘れそうになりますからね。

もちろん落ちたらツライんですが、それも含めて「投稿生活」なので、発表祭りをエンジョイしたいと思います！

こんばんは、らくだです。

先週の日曜日に、近くの神社で、夜店がありました。

4日遅れですが、せっかく写真があるので、今さらながら掲載してみます。



こちらは入口の様子。

携帯撮影なのでちょっと暗めですが、大勢の人達でにぎわっていました。

ちなみに、画像を拡大すると……。



ちんちん焼きの屋台。

「ちんちん焼き」というのは、ベビーカステラのような食べ物ですが、知らない人が見たら誤解が生まれそうな看板ですね。



神社の中の様子。

それほど広くないものの、非常に活気がありました。

最近気温も極端に暑いので、一気に「夏！」って感じです。



じゃがいも君がキュート。

他には輪投げや射的、フランクフルト、かき氷などがありました。

この時は火鍋を食べて満腹だったので、特に何も買いませんでしたが、それでも夜店ってワクワクします。



スーパーボールすくいって、取っても使い道ないのに、ついやってしまうんですね。

さすがに今はしません、自分が小学生の頃は、よく兄と競ったものです。

そしてもちろん、定番の金魚すくいもありました。



発表祭りもいいですが、せっかく夏なんだから、本物の祭りもいいですね！

基本的に引きこもりな自分ですが、今年はイベントをチェックして、活動的に過ごしたいと思います。

昨年の全日本で圧巻の初優勝を果たし、ソチ五輪にも出場した鈴木明子選手。

4月に刊行された彼女の自伝を、ようやく読むことができました。

『ひとつひとつ。少しずつ。』 著：鈴木明子

<http://www.amazon.co.jp/dp/4046002972>

あ、えっと、宣伝ではないですよ。

リンクもアフィリエイトではないので、安心してクリックしてください。

ちなみに内容ですが、フィギュアスケートの技術的な話は、ほとんどありません。

それよりも、「逆境の中で気持ちをどうコントロールするか」がメインで、だからこそ小説投稿に通じる部分が多いように感じました。

たとえば、投稿をしていたら、こんな瞬間ってありますよね？

- ・ 努力がなかなか実らない
- ・ 結果を出している人達がうらやましい
- ・ 自分にはセンスも才能もなく、あるのは好きな気持ちだけ
- ・ 自分ではいい出来だと思ったのに、採点上の評価がイマイチで困惑

そんな感じで「もうイヤだな」と思ってしまった時に、どうしたら自分らしく頑張れるのか、そのヒントがたくさん書かれた本だと思います。

たとえて言うなら、栄養剤のようなイメージですね。

疲れてしまった時に、そっと背中を押してもらえるような、あたたかい本でした。

ひとまず自分は一読しましたが、落選で心が折れそうになった時などに、また読み返したいと思います。

当ブログはおかげさまで、更新888回を迎えました！

今回はゼロ目更新を記念して、自分が何故このブログを書いているのか、誰にも聞かれてないけれど一方的に語ってみます。

えっと、まずですね。

自分も投稿者なのに上から目線な発言をしますが、投稿者さんって、孤独をかかえているケースが多いんですよ。

周囲に理解されないまま、一人で頑張っているのに、何度送っても落選ばかり。どうしようもなくツライのに、わかってくれる相手もない。

そういう状態に陥っている方々を、非常にたくさん見てきました。こうして偉そうなことを言っていますが、正直、自分もそうになってしまう瞬間はあります。

そんな時に、ちょっと『らくだ図書館』にアクセスして、ほっこりしてもらえたらいいなあーと思うんですよ。

真剣に小説投稿をしていると、たくさんの感情が生まれます。嬉しいことも、悲しいことも、悔しいことも、腹立たしいこともあります。

このブログには、そういう喜怒哀楽をたくさん詰め込んでいるつもりなので、「あー、あるある！」と思える記事がきっと見つかると思うですよ。

そういう色々な感情を読者さんと共有したいので、落選した時の悔しさも迷わず書いているんですが、それで励まされてくれる人が一人でもいるなら、自分の落選歴の披露なんて安いもんです。

とにかく、投稿砂漠のオアシスとなるべく、これからも更新を続けようと思います！

えんため大賞ニュースが更新されたと聞いて、「もしや1次発表か!？」と鼻息荒く見に行ったものの、次回の募集に関するお知らせでした。

やだ、もうっ!

らくだ、誤解しちゃった!

てへぺろ風にしゃべって、照れ隠しをしてみるけど、逆に気持ち悪いパターン。

まあでも、仕方ないですよ。

えんための1次発表って、たいてい6月の金曜日だから、そりゃ誤解もしちゃいます。

ちなみに、発表日を勝手に予想すると、こんな感じでしょうかね?

6日(金) × 期待はしてたんですが……

13日(金) △ ないと思うけどあったらいいな

20日(金) ◎ 不動の大本命、賭けるならココ

27日(金) ○ 普通にありそうだけど、もう少し早いことを願う

でもね。

3年連続で通過した賞は、4年目に必ず落ちるといふ、自分内ジンクスがあるんですよ。

その理屈でいくと、今回のえんためは落ちるんですが、まあジンクスなんてきつとアテにならないですよ
ね。

絶対に通過だ!

頑張れ自分の作品!

そもそも立てて折るのがフラグの醍醐味ですし、去年までのイヤな流れを、ここでバッサリと断ち切りたいです。

こんばんは、らくだです。

全国的に梅雨入りして、悪天候が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さてさて。

魔法のいらんど大賞のエントリーが、6月2日（月）から始まっています。

【公式ホームページ】

<http://award.maho.jp/>

今年は予選を通過すると、選評がもらえるらしいです。

送付時期は来年の3月なので、かなり先の話ですが、これは朗報ではないでしょうか。

電撃大賞はかなり女性向けでも通過できる印象ですが、刊行作品を見るとやっぱり、「男性向け」か「男女どちらも」のような気がするのです。

なので明らかに「女性向け」な作品で、AMWからデビューしたい場合は、こちらの賞もいいんじゃないかと。

前にも書きましたけれど、魔法のいらんど大賞の出身で、MWから出版した作家さんもいらっしゃいますからね。

まあ、宣伝だけしておいて、自分は参加しませんが！（オイ）

とりあえず、ノベル大賞のジャンルの幅が広がるようなので、女性向けはそっちに全力投球しようかなーという計画。

でも、ネット公開も魅力的ですよ。

今回は残念ながら不参加ですが、今送っている公募の結果が出たら、真面目に考えてみようかなーと思います。

今夜は個人的に嬉しかったことについて語ってみます。

今から半年ほど前だったと思いますが、一緒に頑張っている投稿仲間さんに、下読みをお願いしたんですよ。

その方が、半年たった今になって、私の作品を読み返してくださったそうで。それで、「読んで勇気が出ました」という、熱い感想をいただいたんです。

これ、本当に嬉しいですよ。

まず第一に、こんなに時間がたってから、もう一度読んでもらえたことが嬉しいです。

おまけに「勇気が出た」って言葉、自分にとっては、最上級の褒め言葉なんですよ。

自分はそもそも、「印税生活でウハウハ」とか、「大作家になって尊敬されたい」とか、そんな願望はまったく持っていないんです。

いや、まったくと言ったら、さすがにちょっと見栄ですね。

そういう状況になったら、嬉しいことは事実です。

でもそれ以上に目指しているのは、読んでくださった方に勇気を届けたり、前向きな気持ちになってもらうことなんです。

だから「作者名は知らないけど、あの作品に勇気をもらった」とか、そういう風に言ってもらえたらすごく嬉しいし、そういう作家になりたいと思ってずっと投稿を続けています。

まあ思っているだけで、実践できていないから、毎回落選なんでしょうねッ！（自爆）

でもとにかく、嬉しい感想をいただけて、改めて自信が湧きました。

結果の出ない日々が続いていますが、この気持ちを胸に、また一步一步頑張ろうと思います。

本日は6月10日ということで、電撃の総数が発表されました！

まあ、昨夜からフラゲ情報は出ていましたが、電撃の公式サイトにアップされたので、改めてここに転記しておきます。

【公式ホームページ】

<http://asciimw.jp/award/taisyo/index.html>

応募総数 : 6231作 (前回: 7523作)

小説部門 : 5055作 (前回: 6554作)

あれ？

めっちゃ減ってる？

今までずっと増えていたのに、これって自分の知る限り、初の減少じゃないですかね？

まあでも、だからといって、ラクな戦いになるわけじゃないんですよね。

去年よりは減ったといっても、それでも他の賞の数倍ですし。

なので変な感じに安心せず、逆に必要以上にビクビクすることもなく、冷静な気持ちで結果を待ちたいと思います。

あとそれから、来年の募集要項も、本日発表になりました。

ザッと確認してきましたが、大きな変化はないようです。

枚数や選考システムは、今まで通りみたいです。

それはさておき、とにかくまずは、来月の1次発表。

ようやく応募総数もわかったので、残り1か月、ワクワクしながら待ちたいです。

ツイッターのフォロワー数が、ついに100人を突破しました。

皆様、どうもありがとうございます。

奥手なのであまり発言できませんが、これからも懲りずに構ってください。

でも、改めて思うんですが、ツイッターって便利ですよ。

ちなみに自分、リア友はフォローしておらず、フォロワーの大半が投稿者さんです。

まあより正確に表現すると、「リア友はフォローしていない」ではなく、「リア友はいない」が事実なんだぜ
コンチクショー！

はい。

いつも通りの、ぼっちネタ。

なんかもう、ぼっち選手権があれば、自分は優勝候補じゃないですかね。

一人で食事はもちろん、海も映画もディズニーランドも、余裕でアリですからね。

とにかく、これだけ投稿者さんと繋がっていると、自然と色々な情報が入ってきます。

どこで発表があったとか、新しい賞が始まったとか、自分では拾えない情報がたくさん。

ここに書いている発表の記事も、ほとんどの場合、ツイッターで仕入れてますしね。

なので、使い方に気を付ける必要はあると思いますが、敬遠していらっしゃる投稿者さんがいれば、「便利だよ～」とお伝えしたいです。

というわけで。

ツイッターの宣伝なのか、それともぼっち自慢なのか、何だかよくわからない記事になりましたが、フォロワーの皆様は今後もよろしくお願いします！

こうしてブログを続けていると、頑張っ更新したのにPVが伸びなくて、ションボリしてしまう日がたまにあります。

それとは反対に、ヘラヘラ遊んでばかりだった日にPVが伸びて、逆に申し訳ない気持ちになってしまうこともよくあります。

それで思ったんですが、「文章を書いている瞬間」と、「その文章が読まれる瞬間」には、必ず時間的なズレがあるんですよね。

相手の目の前で書かない限り、どんな場合でも必ずそうです。
毎日更新のブログに、毎日アクセスしていても、数時間のズレは生じます。

ましてや投稿なんて、どうでしょうか？

【書く → 送る → 読まれる → 発表（数段階） → 相手が選評を書く → 選評到着】

ちょっと想像してみただけでも、ものすごいタイムラグです。
ケースによっては、書き始めから選評ゲットまで、1年近くかかったりするわけです。

ここで大切なのは、来たるべき未来を信じて、継続することじゃないでしょうか。

書いている時は、見返りなしに努力している状態なので、大変で当たり前。
それに対して、成果や報酬が返ってくるのは、努力が終わってからだいぶ後。

だから書くのがツラくなって、途中で執筆をやめちゃうのは、勿体ないと思うんですよね。
わざわざツライ部分だけ経験して、成果が出る前に、やめちゃっているわけですから。

なので、努力するのがむなしくなってしまった時は、この「タイムラグ」を思い出してみてはいかがでしょうか。

今はひたすらツラくても、成果が出るのは、きつともうすぐですよ！

やや遅れ気味の話題ですが、講談社ラノベの1次結果が、6月11日に発表されました。

【発表ページ】

http://kc.kodansha.co.jp/magazine/index.php/90008?id=9819/21776/21777#content_01

応募総数 298作
1次通過 70作
通過率 約23%

1次通過された皆様は、おめでとうございます！

2次もその次も、通りますように！

しかし、アレですね。

1次の通過率が23%ということは、以前よりも少し増えたでしょうか。

それでも計算上、4本に3本（以上）は落ちるのだから、厳しい戦いに変わりはありませんけどね（汗）

とにかく通過リストを見ると、「みんな頑張っているんだなあ」と思えて、いい意味で励みになります。

やっぱり、ね。

投稿者が増えるのって、嬉しいことですよ。

ライバルを減らすという観点では、むしろ減った方がいいのかもしれませんが、自分は断然「増えて欲しい派」です。

そのために頑張ると言ったら凶々しいですが、投稿界を盛り上げていけるよう、これからも情報発信を続けようと思います！

週末に台湾旅行へ行ってきたので、今日からしばらく、その写真を紹介していきます。

まずはコチラ。

台北のシンボルで、アジア有数の高さを誇る、台北 1 0 1（イーリンイー）です。



1 0 1 の高さは、なんと 5 0 8 m !

横浜ランドマークタワーは 2 9 6 m、あべのハルカスは 3 0 0 m ですが、それらを遥かに超える圧倒的な高さです。

真下から見たら、こういう感じ。



さっそく展望台へのぼって見ましたが、天気がイマイチだったせいもあり、あまり景色は見えませんでした。

おまけに、高所恐怖症だから、展望ガラスに近寄れず……。
なんかもう、お前は何しに行ったんだ、って話ですね（汗）



通常の展望フロアは89階ですが、この日は非常にラッキーなことに、91階の屋外展望台が開放されていました。

地上からの高さは、なんと390m……。
知人は喜んでいましたが、自分にとっては、むしろアンラッキー……。



屋外展望台から見た、塔のてっぺんの様子。

え、景色の写真？
景色は怖くて見られませんでした。

風も強いし、足元も揺れるし、もう降りた〜い！



というわけで、せっかく行った101では、あまり写真が撮れませんでした……。

代わりに、ジャージャーン。

昼間天気が悪かったせいか、夕暮れ時に街を歩いていたら、綺麗な虹と遭遇しました。



夜には雨も上がって、夜市にも行けました。

台湾は4回目ですが、ちゃんと夜市を見たことがなかったので、楽しかったです。

次回は中正記念堂を紹介します！

【次回へ続く】

続いては、中正記念堂を紹介します。

門の奥に見えている、青瓦の建物がそれです。

ここから見ると小さいですが、実際は、70mもある巨大な建物です。



中正記念堂は、蒋介石総統を記念して建てられたモニュメントで、見学は無料。

間近で建物を見ると、なかなかの迫力でした。

右下の観光客と比べると、巨大さがわかりますね。



さて。

それではさっそく、入ってみましょう。

中には巨大なブロンズ像があり、軍の衛兵さんが警備しています。



衛兵さんは、1時間に1回、交代します。
残念ながら写真がありませんが、ビシッと揃った交代式は圧巻でした。

そして、1度台座に乗ったら、それっきり微動だにしません。
何の前情報もなく見たら、マネキンだと勘違いしそうなほど、本当に動かないのです。



交代式の後には、こんな光景が。
本人が動けない状態なので、スタッフが服を整えたり、汗を拭いたりしていました。

それにしても、急にトイレへ行きたくなったら、この衛兵さんはどうするんでしょうか……。



野暮な疑問は置いて、天井を見上げると、この通り美しい装飾が。

最後に1枚、記念堂から門を振り返った写真を↓

場所は台北のど真ん中ですが、これだけ広い公園があると、ホッと心がなごみますね。



台湾南部に台風が来ているとかで、旅行中ずっと天気が悪かったんですが、この日は比較的晴れていて良かったです。

次回はジウフェンの様子を紹介します！

【次回へ続く】

台北から地元の電車に乗って、九（ジウフェン）へ行きました。

ジウフェンの「フェン」は、にんべんの横に「分」です。
文字化けしそうなので、以後カタカナで書きます。



ジウフェンは、元は炭鉱だった小さな町で、今は有名な観光地になっています。

さすがに観光客が多いですが、「活気がある」というよりも、「風情がある」と表現した方が似合う場所です。

写真をご覧ください。

軒先の赤ちょうちんが、いい味を出してますね。



メインストリートの基山街を、どんどん進んで行きましょう。

歩いているうちに、周囲が暗くなって、ますます雰囲気が出てきました。
途中で50分くらい電車待ちしたんですが、いい時間帯に着けて逆にラッキーでした。



ここから先は、階段を降ります。

名物の芋団子を食べているうちに、空が真っ暗になってしまいましたが、この階段がジウフェン観光のメインです。



それにしても、すごい人出……。

押すな押すなの大混雑です。
日本からのツアーのお客さんも多数いました。

そうこうしているうちに、有名な撮影地点に到着。



台湾映画、『非情城市』の舞台になった場所。
ちょっと見えにくいですが、左上に看板が出ています。

ちなみにジウフェンの町並みは、『千と千尋』のモデルになったとも言われていますが、まさしくそんな雰囲気でした。



上を振り返って、写真をパシャリ。

活気ある台北もいいですが、レトロな郊外もいいですね。
帰りのバスが激混みで大変でしたが、他にはない雰囲気を味わえました。

次回は高雄の海岸を紹介します！

【次回へ続く】

旗津海水浴場 - 2014.06.17 Tue

台湾旅行3日目は、高雄へ行きました。

高雄は台湾南部の中心都市ですが、2007年に台湾新幹線が開通したことによって、台北から所要2時間で行けるようになりました。

今回目指すのは、高雄西部の半島にある、旗津（チージン）海水浴場。
現地へは地下鉄&フェリーで向かいます。



カラフルなフェリー。

乗船時間は約5分と短いですが、船上からの眺めは風情があります。

そうこうするうちに、無事に目的地へ到着！



旗津海水浴場。

夏には海水浴が楽しめて、海岸公園が綺麗に整備された、地元っ子のデートスポットらしいのですが……。



どうよ、コレ。

台風接近のニュースに出てきそうな画像ですが、なんでこんな写真になったかというと、実際に台風が接近しているからです……（汗）

自然の問題だから仕方がない話とはいえ、旅行中に天気が悪いのは残念ですよ。



しかしこんな悪天候でも、浜辺を歩く人がいました。

えっとー？

海に近付いたら危ないよー？



ああ……。

空が晴れてさえいたら、素敵なビーチだろうに……。

とか思いながら、写真を撮っているうちに、強風で傘が裏返る事態発生！
高雄の観光名所、蓮池潭の観光はあきらめて、仕方なく台北へ戻りました（泣）



最後に1枚、フェリー乗り場の近くで撮った、カメの写真を。

まあそんなこんなで、最初から最後まで天気に恵まれない旅行でしたが、それはそれでいつもと違う珍しい体験ができました。

この思い出を胸に、執筆など諸々の作業を、また頑張ろうと思います！

当ブログ『らくだ図書館』は、更新900回を迎えました。

ありがとうございます。

毎回しつこく書いてますが、これもひとえに、読者の皆様のおかげです。

たまに反面教師とか言われますが、楽しく役に立つ投稿ブログを目指して、今後がんばろうと思います。

しかし、しばらく記事を更新しなかったせいか、「アイツ電話来たんじゃないかね？」と誤解された方がいたようで……（汗）

いや。

ないっすよ。

最終まで行ったこともないし、そもそも1次通過中の賞さえないのに、どこから電話が来るってんだよコンチクショー！

まあ、アレですね。

デビューが決まったけど公表できないから、しらばっくれながら普通の記事を書く、そういう状況になりたいものです。

とりあえず、電話は全然ないので、ご安心(?)くださいませ。

1次待ちしているのは、ロマン、えんため、電撃です。

そんなこんなで、逆ギレ気味になりましたが、本日は900回の記念記事でした。

いつまで続くのか自分でもわかりませんが、ひとまず1000回を目指して、今後も走り続けようと思います。

こんばんは、らくだです。

本日は久しぶりに賞の紹介です。

【本のサナギ賞】

<http://www.d21.co.jp/feature/sanagi>

詳細はリンク先をご覧ください……ですが、要点を抜粋すると、だいたいこのような感じでしょうか。

- ・ エンターテインメント小説を募集、ジャンル不問
- ・ 原稿用紙換算で、200枚～500枚
- ・ 2014年7月31日（木）締切り
- ・ 他社で落選した作品でもOK
- ・ 複数応募は喜んで！

というわけで、応募要項を読んだ感じ、非常に自由度が高そうな印象です。

締切りは来月末ですが、なんだか面白そうなので、自分も送ろうと思っています。

ちなみに賞のキャッチコピーは、「感じて、動く、エンタメ小説、大募集！」

えっと……？

感じて動く……？

その言葉から、シモネタを想像した自分は、単なる変態なのでしょうか。

いえ、違いますね。

きっと、「感動して心が動く」という意味ですね。

そんなわけで、相手の心を動かせるような作品を、頑張って送ってみようと思います！

こんばんは、らくだです。

えんため大賞の1次発表ですが、どうやら本日はない模様です。
FBオンラインに、来週の金曜日ですよーという、公式アナウンスが出ていました。

そうか、残念……。
ヤケ食い用のポテトチップスを、しっかり準備しておいたのに……。

【証拠写真】



ジャジャーン。

今回はいつもの100円ポテチではなく、わざわざ北海道から通販で取り寄せた、ロイズのポテトチップチョコレートです！

どうです？
気合い入ってるっしょ？

気合いを入れる部分を大きく間違っている気もしますが、とりあえず、意気込みは伝わったんじゃないでしょうか。

ちなみに、来週には賞味期限が切れるんですが、何もない日に食べるのは勿体ないので、来週末のヤケ食いに置いておこうと思います。

いや、祝杯にできれば、一番いいんですけどね。
最近成績がひどすぎるので、「絶対に通過します！」とか、言い切れない状態です。

とにかくそんなわけで、写真のグッズはいったん冷蔵庫へしまっ、27日（金）の発表を待とうと思います。

こんばんは、らくだです。

突然ですが、発表待ちチャットって、皆様はどう思いますか？

自分はずっと、落ちたら絶対に居心地悪いし、「ないわー」と思ってたんですよ。

でも、去年のガガガ1次の時だったか、偶然そういう状況になってしまって。

別に発表待ち企画ではなかったんですが、他の話題でグループチャットしている時に、たまたま1次発表が来てしまったんですよ。

で、自分は例によって落選だったんですけど、周囲のメンバーが通過してお祝いムードみたいになって、その雰囲気のおかげであまり落ち込まないで済んだっていう経験が。

なんか、やっぱりね。

自分が落ちてしまっても、身近に通過者がいると、嬉しいものですよ。

中途半端に「名前だけ知ってる人」とかだと、正直ジェラシーの炎メラメラですが、一緒に頑張っている相手が通るのは嬉しいものだなーと。

まあ以前は、投稿仲間さんが通過しても、内心嫉妬してたんですけどね。

ちゃんと祝福できるようになった今は、心に余裕ができたのかなーと思ったり。

とにかくそんなわけで、発表待ちチャットを敬遠している人がいたら、試しに一度参加してみるのもいいんじゃないかと。

もちろん合う、合わないはあると思いますが、それは経験してから決めればいいいわけで。

自分も発表チャットに限らず、食わず嫌いで敬遠するのをやめて、色々な企画に積極的に参加していきたいです。

こんばんは、らくだです。

今何気なくカレンダーを見て数えたら、このブログはちょうど自分の誕生日の翌日に、更新1000回を迎えるみたいです。

おおう！

これは何か思い出に残るような、記念の企画を用意しなければ！

というわけで、1000回おめでとう企画の準備を進めているので、当日何が起こるのか皆様どうぞお楽しみに。

まあね。

こうして舞い上がっても、冷静に考えてみれば、一人で勝手にしていることですけどね。

一人で勝手にブログを始めて、一人で勝手に更新して、一人で勝手におめでとう企画。

もうね。

勝手にシンドバッドですね。

でも、せっかく投稿生活をしているからには、めいっぱい楽しみたいじゃないですか。

よく「投稿者は半人前」、「投稿者の意見なんて……」という言葉を目にしますが、そもそも本気で頑張っている人間に優劣なんてないと思うんですよ。

どれだけ投稿成績が悪くても、本気で頑張っているなら、胸を張って発言したらいい。

たまに笑われたりもしますが、このブログは、そういう姿勢で書いています。

とにかく話がズレましたが、1000回を迎えるのは、9月の下旬頃の予定です。

それまでは確実に更新する予定なので、皆様どうぞお付き合いくださいませ。

W杯に押されて影が薄くなっている感じもしますが、本日はいよいよ、ウィンブルドンテニス2014が開幕しました！

初日の第1試合には、ツアー最年長者である、クルム伊達公子選手が登場。
最初から最後まで本当に全力で、一切妥協せず、攻める姿勢が伝わってきました。

結果的には残念ながら負けてしまったものの、ランキング上かなり格上のシード選手を相手に、互角以上の試合をしていたと思います。

それで思ったんですが、年齢を諦める言い訳にしないって、本当に格好いいですね。

それに比べて、自分はどうか。
あんなに全力で頑張っているのか。

答えはノーです。

執筆はスポーツのように体力がいるわけでもなく、おまけに自分のペースで進められるのに、「年齢が……」とか「時代の流れが……」とか、いつも見苦しい言い訳をしてばかり。

試合を見終わって、そんな自分を、深く反省しました。
今後年齢を言い訳にするのは、本当にやめようと思いました。

それから、浅田選手のオリンピックの演技の時も思ったんですが、全力で戦う姿には人を感動させる力がありますよね。

勝たなければ記録には残りませんが、たとえ負けてしまっても人を感動させる試合というのはあるし、そこからたくさんの勇気をもらえる。

重ねて話すのも凶々しい未熟者ですが、自分も全力で夢を追って見ている人に勇気を与えるような、そんな人間になりたいと思いました。

すでに各所で話題になっているようですが、新潮社が新レーベル、「新潮文庫 nex」を8月末に創刊するそうです。

【公式ホームページ】

<http://shinchobunko-nex.jp/sp/>

具体的な情報はまだ少ないですが、出版予定の作家さんのリストを見ると、気合いのほどが伝わってきます。

刊行まで2か月ほどありますが、これは注目ではないでしょうか。

何しろ現在メディアワークス文庫が展開しているような、ラノベと一般文芸の中間に位置するレーベルのようですからね。

ってかね。

個人的な感想を言うとね。

出版大手の新潮社が直接ラノベに参入しないで、あえてMW枠に気合い入れて参入してくるってことは、やっぱり従来のラノベは飽きられているんだらうなー、少なくとも新潮社はそう判断しているわけだよなーと思ったり。

長年ラノベの賞に投稿している身でアレですが、今までちっとも結果が出なかった人間としては、この流れは正直言ってありがたい話です。

いや、本当に勝手な意見ですけどね。

結果が出ないワナビの、単なるひとりごとです。

とにかくこれだけのレーベル規模なら、新人賞の創設も期待できるかもしれないので、今後の動向を見守りたいと思います。

もう何度も宣伝済みですが、らくだ図書館の過去ログは、パプーで配信しています。
もちろん無料ですし、日付順に追えるので、まとめ読みに便利だと思います。

しかしですね。

パプーの仕様については、1点不満がありました。

それは何かというと、配信用のPDFに禁則処理が反映されず、「、」や「。」が行頭に表示されてしまうことなんです。

そのことに非常に腹が立って、サポートにメールしたんです。

「電子書籍販売の専門サイトなのに、こんな仕様になっているのは、致命的なんじゃないですか？」と。

そしたら丁寧な返信が来まして、設定一つで、簡単に解決する問題でした（滝汗）

【PDFの禁則処理をする】

<http://p.booklog.jp/book/378/page/1096116>

うおおおおん！

2年半利用してるけど、知らなかったあああ！

というわけで、すべて禁則処理を施したバージョンに差し替えましたので、皆様よろしければ改めてダウンロードをもによもによ……（弱気な宣伝）

それにしても、「致命的ですね」とか言った自分は、相当感じの悪いユーザーですね。

ま、まあ、2年半の悩みが解決したということで！

確認不足だった自分を深く反省しつつ、今後もパプーを利用しようと思います。

こんばんは、らくだです。

前々回の記事で新潮 nex について触れ、新人賞の創設を期待したいと書きましたが、公式ツイッターに新潮 nex 大賞の情報が出ておりました。

なんだよー！

新人賞やるんじゃないかー！

ってわけでドキドキしつつ詳細を見たら、聞いたこともないような選考方法で。

詳細は公式ツイート参照ですが、

- ・対象となるのはネット小説
- ・いわゆる公募スタイルではない
- ・ネット上の作品を、いつの間にか編集さんが読んで、いきなり声がかかってくる

えっと？

こういう理解でOKですかね？

でもこれ、掲載すべきサイトが指定されているわけでもなく、作者がエントリーの意思を示せるわけでもなく、狙って受賞できる可能性はゼロと言って差し支えないですね。

なんか……。

残念ですね……。

時代の流れとしてはこういう方法もアリかなあーとは思いますが、書き手としては「新潮でデビューするために頑張る」ということができないわけで。

まあでも、詳細発表で細かい指定があるかもしれないし、引き続き続報を待ってみようと思います。

最近ことあるごとに、公募の意味って何なんだろう、と考えています。

応募数が目に見えて減少している……。

受賞作品の続刊がなかなか出版されない……。

それよりも、ネットからの拾い上げ作品が、レーベルの看板になっている……。

こういう現在の状況を考えると、公募はこれから衰退していく一方で、ネット小説のスカウトがデビューへのメインルートになるのだろう、と想像せずにいられません。

それは別にいいんです。

出版社にとっても、書き手にとっても、ある意味メリットがあると思います。

でも、長年公募をやってきた人間には、公募という枠組みが存在する故に、できなかったことがたくさんあるんですよ。

続編を書けない。

ネットで自由に公開できない。

どれだけ思い入れがあっても、落選したらそれで終わり、読者のもとへ辿り着けない。

その点ネット小説なら、書きたいだけ書き続けられるし、読者に直接読んでもらえるし、それらの制約に縛られずに活動できます。

じゃあ自分も、公募生活は卒業して、ネット小説家に転身するぞ！

と言いたくなりますが、それなら今まで我慢してきたのって、いったい何だったのかと。

今まで公募の制約のせいで不可能だったことが多数あるのに、その公募が衰退してスカウトに流れている現状を考えると、これまで我慢してきたことが無駄だったように思えるというか。

そんなに深く悩む必要はないのかもしれませんが、ちょっとモヤモヤした気分になっているので、公募の意味について真剣に考えてみようと思います。

はいはい、落選ね。

いいよもう、最初からわかってたし。

ってわけで、自分は1次落ちでしたが、通過された皆様はおめでとうございます！

応募総数 758作品

1次通過 203作品

通過率 約27%

http://www.enterbrain.co.jp/fb/pc/15enter/16th_senkou01.html

まあ、でもね。

やっぱり落選すると落ち込むし、公募の意味って何だろう……と考えたりしちゃいますが、長く投稿を続けてきて「よかったこと」というのが、確実に一つだけありまして。

それは何かと言うと、たくさん作品を書いたことです。

自分は今までに20本くらい書きましたが、仮に最初に書いた1本で大成功していたら、残りの19本は書くどころか考えもしなかったわけで。

そう思うと、自分で書いた作品に対して変かもしれませんが、「出会えてよかった」と思わずにはいられません。

で、気分が少し明るくなった後、そうやって生まれた大切な作品が落選したんだと思い出し、無限に落ち込む投稿ラビリンス。

ま、暗くなっても仕方ないですね！

落ちたことはしっかり反省しつつ、気分的にはあくまで前向きに、ワナビ道を歩んでいこうと思います。

昨日えんため 1 次の話を書きましたが、ガールズの方も結果が発表されました。

応募総数 519 作品
1 次通過 60 作品
通過率 約 12%

1 次通過された皆様は、おめでとうございます。

自分はガールズには不参加でしたが、下読みさせてもらった作品が通過していて、そのことが非常に嬉しく励みにもなりました。

しかーし！

2 次発表は 7 月下旬らしいですが、27 日更新のファミ通ブログを見ると、こう書いてあるんですね。

「二次選考の最後の方の数日は、リビングの床に真夜中、眠気覚ましのために頭を打ち付けながら読みました」

え？

まさかこのタイミングで、去年の話じゃないよね？

ってことは、今年の 2 次選考はもう、とっくに終わっているの？

ここで本来ならモヤッとするはずですが、1 次でサヨナラだった自分には、2 次選考の時期なんて全然関係ないわけー。

はっはっは！

1 次通過した奴らは、ビクビク不安に怯えながら、あと 1 か月過ぎすがいいさ！

という、必死の強がりやを披露しつつ、今夜はこれにて失礼します。

昨日はカウンターが壊れたのかと疑うほど、ものすごいアクセス数を記録しました。

えっと？

オイラ何かしたっけ？

増えるのは嬉しいんだけど、理由がわからないと、ちょっと戸惑うっていうね。

これがもし、投稿中の自分の作品があまりにも面白すぎて、「常木らくだとは何者だ？」と編集部内で話題になり、アクセスが集中した……とかだったら嬉しいんですけどね。

ええ、どうぞ笑ってください。

そんな寂しい空想をするほど、結果に餓えた毎日なんです。

まあ実際は、えんため落選の影響でしょうね。(落ちるとアクセスが殺到するブログ)

さて。

ふと気が付いてみれば、今日で6月が終了です。

今年の前半を振り返ってみると、1月～4月までは投稿に全力を尽くして、そのあと結果待ちをしているんですよ。

だから、文字にして書ける「成果」は、今のところ何もないっていう。

そうなる、自分が何もしていなかったようで、急に不安になってしまうわけですよ。

別に今に限ったことじゃなく、投稿生活は本当に、その繰り返しばかりで。

かといって、努力をやめてしまったら、成果なんて永遠に訪れません。

なかなか芽の出ない毎日が続いていますが、自分自身を根腐れさせずに、これからも続けていこうと思います！